



子ども会駅伝大会・勤労者駅伝大会 子どもも大人も力走を見せてくれました

2月12日、第39回四万十町子ども会駅伝大会と第16回四万十町勤労者駅伝大会が開催されました。東又地区駅伝コース合計9kmのコースを沿道の声援を受けながらタスキをつないで走りました。結果は左記のとおりです。



▲左から駅伝子ども会女子優勝・男子優勝・勤労者駅伝優勝



第11回四万十町新春バドミントン大会開催 町内参加チームも大健闘

2月26日、四万十町B & G海洋センターにて新春バドミントン大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催です。今大会は2～4部に分かれての団体戦となり、町内外から10チーム40名の参加がありました。出場チームは少ないながら、久しぶりの大会に手に汗握る熱戦を見せてくれました。

町内参加者は2チームに参加。Freedomは2部3位、くぼかわHSBCは3部2位の結果となりました。

試合結果

2部	優勝	ソルト（黒潮町）
	準優勝	浜千鳥（黒潮町）
	第3位	freedom（高知市・四万十町）
3部	優勝	海援隊B組（四万十市）
	準優勝	くぼかわHSBC（四万十町）
	第3位	香南市役所（香南市）
4部	優勝	へなちょこイッシーノ（高知市）
	準優勝	ぴーすまいる（四万十市）
	第3位	りあんとうかいな仲間たち（津野町）

【第39回四万十町子ども会駅伝大会】

男子の部 団体

第1位	東又ランナース	35分27秒	（大会最高記録）
第2位	米奥小A	37分51秒	
第3位	君の名は影野	37分58秒	

男子 区間賞

第1区	東又ランナース	石崎 航	6分29秒	*
第2区	東又ランナース	佐竹 奏力	6分39秒	*
第3区	君の名は影野	武政 颯太	7分47秒	
第4区	東又パウンティーズ	濱崎 唯斗	7分09秒	*
第5区	東又ランナース	窪田 龍和	6分47秒	

* = 区間新記録

女子の部 団体

第1位	窪川小C	37分55秒
第2位	窪川小D	41分36秒
第3位	東又レボリューション	44分15秒

女子 区間賞

第1区	米奥小A	坂本 心美	6分59秒
第2区	窪川小C	森本 初	7分37秒
第3区	米奥小A	宮崎 美羽	7分56秒
第4区	窪川小C	羽屋戸 彩奈	7分31秒
第5区	窪川小C	石本 愛麻	7分25秒

【第16回四万十町勤労者駅伝大会】

団体の部

第1位	RUNRUN	27分28秒	（大会最高記録）
第2位	高幡自動車	32分05秒	
第3位	膝神	34分49秒	

区間賞

第1区	RUNRUN	武山 弘周	5分33秒	*
第2区	RUNRUN	川上 悠磨	5分26秒	*
第3区	RUNRUN	上澤 拓人	5分34秒	*
第4区	RUNRUN	川上依武輝	5分16秒	*
第5区	RUNRUN	田向 仁	5分39秒	*

* = 区間新記録

グラウンド・ゴルフ大会開催 第12回くぼかわスポーツクラブ杯グラウンド・ゴルフ大会



3月2日、第12回くぼかわスポーツクラブ杯グラウンド・ゴルフ大会が、金上野総合グラウンドにて開催されました。町内外の53名が参加し、盛り上がりを見せました。

今月の



大正中津川の人々のありようを通して

「集落」とは何かに迫る②

前号に続いて、「大正中津川今昔写真展」を主催した高知大学地域協働学部 地域生活特別講義実習生をご紹介します。2回目は1年生のお二人。（※以下、大正中津川↓中津川）

まずは浅井耀世さん。浅井さんは南国市の中学校を卒業後、丸の内高校を経て、高知大学に進学しました。「入学直後に、この特別講義に誘ってもらいました。みんながあまりやっとなさそうだったので、かえって興味が湧きました（笑）」と浅井さん。その時にはまだ「中津川の奥行き」の深さについてには知る由もありません。初めて中津川に行ったのは6月の田植えの時。その時もまだ「お客さんみたいなもの」だったといいます。そして、そのひと月後、夏祭りの準備を手伝うために再び中津川を訪れた時のこと。浅井さんの心が動きます。「田植えの時に訪れた私のことを、中津川の人たちが覚えていてくれたんだ。ここを訪れるたくさんの人たちのうちの一人に過ぎない、しかも部外者みたいなものなのに、しっかり覚えてくださっていたのが、本当にうれしかったんです」一気に親しみ以上のものが湧き上がりました。そんな浅井さんと行動を共にしていた浪上愛梨さん。高知西高校を卒業して高知大学に進学しました。浪上さんも「はじめはちょっと恐る恐るとい

▶「大正中津川今昔写真展」の準備
▶昭和51年の「ちかたび写真展」の様子

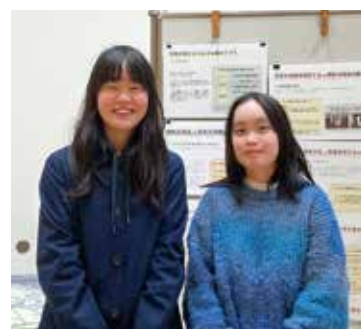


うか、中津川の方たちが受け入れてくださるかどうか不安がありました。地域の結び付きが強いぶん、外部の人を入れてくれないかもって想像したり・・」といいます。中津川を訪れた時のこと、あるおばあさんが鶏小屋に入らせてくれました。卵を集めていくおばあさん。「ああ、こうして生活しておられるのだなあ」敬服しながら見守る浪上さん。と、その時、おばあさんが「はい！」と、その卵をくれました。高知市内で生まれ育った浪上さんにとっては、そんな些細な瞬間が驚きでした。「その人の生活に必要な、大切なものをヒョイ！ってあげられるんだ」浪上さんが「中津川に近づいた瞬間」だったそうです。

南国市の農村部で生まれ育った浅井さんが「私の地元も田舎なのですが、中津川の方たちは結び付きが違う

な〜と思います。私の地元は、玄関までのお付き合いという感じなのですが、中津川はもっと深いと思います」と語る横で「なるほど！うんうん！」とうなずく浪上さん。「あれは6月頃だったかなあ」と時期を思い出そうと首をひねる浅井さんに「ちょっと待ってよ。えーとね、それは6月5日！」と手帳を見ながら答えるマネージャーのような浪上さん。

県内出身者が比較的少ないといわれる高知大学地域協働学部の中で、貴重な県内出身コンビ。とってもピュアな二人にとって、中津川集落との1年間は、大学生活残り3年間の学びだけでなく、さらにその先の歩みに、大きな影響をもたらすのではないかという気がしてなりません。



高知大学地域協働学部 地域生活特別講義実習生
あさい あきよ なみのうえ あいり
浅井 耀世さん 浪上 愛梨さん